

都議選 6月23日告示 7月2日投票

(期日前投票は、区役所や出張所などで投票券がなくても投票できます)

一票をあらそう大激戦

里吉ゆみを広げに広げてください!

お力を
お貸してください

- ◎ 里吉ゆみ勝利へ、ご家族、お知り合いなどに支持の輪を広げてください。
- ◎ 同封の里吉ゆみのビラやリーフを、お知り合い、ご近所の方にお渡しください。
- ◎ 里吉ゆみの演説会や街頭演説、つどいにご参加ください。
- ◎ 募金にご協力ください。



日本共産党
里吉
ゆみ

自民・公明VS共産党が鮮明に
都議選は、共謀罪と憲法9条改定、築地市場の豊洲新市場への移転問題、大型開発優先か福祉とくらし第一の都政か、という3つの大争点で、自民・公明対日本共産党の対決が浮き彫りとなっています。都民のみなさんの願いを託せるのは日本共産党と里吉ゆみです。里吉ゆみを何としても再び都政の場に送ってください。

さぎそう

里吉ゆみ必勝へ小池書記局長が訴え

大歓声と熱気あふれる三茶街頭演説



6月3日、三軒茶屋キャロットタワー前で開催した街頭演説には1千人の聴衆が集まり、大歓声と熱気に包まれました。

保坂展人区長の里吉ゆみ都議応援メッセージ、築地から応援に駆けつけた中央市場労組委員長の中澤誠さん、里吉ゆみ都議、小池晃書記局長・参議院議員が訴えました。

里吉都議は、安倍政権の9条改憲を厳しく批判。区議時代から保育園増設に一貫してとりくみ、都議になつてからも都有地活用などを提案し、世田谷で5千人分の保育園を増設、1千人分の特養ホームの計画が実現したことを報告。文教委員として障害児の学校の教室不足解消、高校生の授業料の無償化などを実現してきたことを述べ「へこたれず、ねばり強く頑張つてきました。保育園や特養ホームをさらに増やし、シルバークラスの改善、ミニバス実現などに全力でとりくみます」と決意を語りました。

豊洲問題では「都民の食の安全の上に大企業の利益をおく自民・公明は絶対に許せません。移転反対の声を私、里吉ゆみに託して下さい」と訴えました。

「小池さんの迫力が胸に迫ってきた」「里吉さんの教育や子育てへの思いに胸が打たれた」「里吉さんを何としても勝たせたい」などの感想が寄せられました。

里吉ゆみ 私のあゆみ③

日本共産党に入党

就職一年目、1999年の春に、日本共産党に入党しました。共産党員の親を尊敬しつつも、政治なんて関係ないと思っていました。だから、自分がこういう活動をするようになるとは思っていませんでした。

きっかけは、いくつかあります。大学4年の時に湾岸戦争がおき、日本ではこの戦争に協力していかうという動きが生ま



れました。「何か行動しなければ絶対後悔する」と、初めて国会行動や集会に出かけました。このとき、自衛隊の海外派兵が狙われましたが、国民の大きな反対世論で阻止することができました。

「思い切つて声を上げてよかった」「社会や政治つて私たちの力で変えられる」と思いました。

また、私の住む八王子の高尾山にトンネルを掘る計画Ⅱ圏央道計画に反対する運動に参加しました。高尾山を守るために必死に何でもやりました。選挙では友人に支持を訴えたり、宣伝カーのアナウンサーなど。そのため政策や日本共産党のことを学びました。その時に、勧められ入党しました。

当時、池袋にあるセゾングループの損害保険会社に勤めていました。半分外資系のこの会社は、

女性社員の制服もなく女性の課長もいたので、女性も働きやすい環境だと思って就職を決めました。

やりたかったことをみつけた

共産党や民青同盟での活動は、忙しかったけれど充実していました。仕事が終わると事務所に直行し、午前様は当たり前でも「やりたかったことを見つけた」という気持ちでいた。社会の仕組みを勉強することは本当に楽しかったし、自然を守る活動、核兵器反対の運動、駐輪場有料化反対の運動、就職難の青年のために合同説明会を八王子市に開催させたこともあります。

こうした活動を通じて、八王子の民青同盟の地区委員長として、専従活動家の道に踏み出しました。(写真左端が里吉ゆみ)

1967年八王子市生まれ。2003年4月から世田谷区議3期。2013年7月から都議、文教委員会副委員長、消費生活対策審議委員。家族は夫と一男、猫